



病院

患者に寄り添い、喜びを分かち合う医療を

しゃかいりょうほうじんしゃだん けいすいかい などがやびょういん
社会医療法人社団 蛭水会 名戸ヶ谷病院

設立:1983年 従業員数:1,000人

柏市新柏2-1-1

TEL 04-7167-8336 / FAX 04-7163-6661

https://www.nadogaya.com/

☑ 交流授業OK

☑ 職場見学OK

☑ 個別質問OK



こんな仕事をしています。

医師、看護師、放射線技師、検査技師、受付・事務担当者など総勢1,000人規模のスタッフ全てが医療従事者です。診察や検査に加えて、手術も行います。手術を受けた患者さんは体が回復するまで入院して、リハビリを行う理学療法士や食事のコントロールを行う管理栄養士が退院までフォローします。地域の方々の身近で安心して治療を受けられる病院を目指して診察をしています。



働く人にインタビュー

体で最も重要で複雑な脳を治療する脳神経外科医はかっこいいと思います、この仕事に就きました。手術後、患者さんの明るい表情を見ると疲れが取れます。エキスパートで居続けるための努力を欠かさない一方で、一緒に仕事をする皆とのチームワークを重視しています。

脳神経外科部長 いのうえ やすあき 井上 靖章 さん



最新の医療機器を用いて患者さんの治療に携わる、医療機器のスペシャリストに憧れて今の仕事に就きました。医療の現場は常にチームワークを求められるので、他職種の方々との連携を意識しています。また医学・工学の知識のアップデートを怠らないようにしています。

臨床工学技士 あおき りょうすけ 青木 凌介 さん



例えば...
こんな人に向いています

- 患者さんの役に立ちたいという優しい心を持つ人
- 人と触れ合うことが好きな人
- 人と協力することが好きな人



皆さんの健康を支える医師の仕事とは？



仕事内容

医師の仕事は、診察で病気の原因を探り、診断し、治療することです。そのために最も必要なことは、患者さんに寄り添い、親身になって話を聞くことです。診察から治療、回復までの流れは、全ての段階における看護師をはじめ、各スタッフの協力とサポートがあって初めて成り立ちます。

やりがい

技術だけでは命は救えません。治療に向けて決して諦めないことが一番重要です。安心して日常生活を送れるようになるまで付き添うという思いで治療に当たっています。患者さんが元気になったときの喜びはひとしおです。

地域に尽くす医療を

柏市は、東京を中心とした首都圏に通勤や通学をする人が多いベッドタウン的な地域です。住む人が都心まで行かなくても、地元で質の高い医療サービスが受けられるようにしたい...という願いを持って、医療の充実を目指しています。



病院ではいろいろな職種の人働いています

臨床検査技師

仕事内容

病院の検査には、血液や尿などを調べる「検体検査」と心電図や脳波などを調べる「生理検査」があり、治療のためにその検査データを提供するのが仕事です。幅広い知識と専門性を生かし他職種と連携したチーム医療でも活躍しています。

やりがい

検査データから医師が診断を行うので、病気を見つけるための重要な仕事だと感じます。また他職種との連携の中で専門性を生かしたアドバイスを求められたときにもやりがいを感じます。



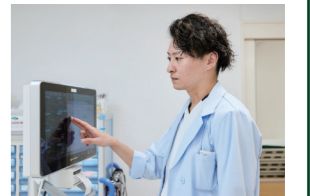
臨床工学技士

仕事内容

病院にあるさまざまな医療機器の操作・管理を行うのが臨床工学技士です。呼吸ができない状態にある患者さんに使用する人工呼吸器、心臓の手術を行うときに使用する人工心肺装置などの操作や管理をしています。

やりがい

医療機器の治療効果について、医師や看護師から意見を求められることも。治療に介入し、患者さんが良くなっていく姿を見られたときはうれしいです。



診療放射線技師

仕事内容

放射線は人体を透過させることで体内の情報を得ることができる一方、微量ですが被ばくをもたらします。放射線技師は放射線の知識を持ち、医療情報を画像という形で提供する仕事です。超音波やMRI装置なども扱います。

やりがい

放射線を少ない量に抑える、あるいは放射線を使わない画像作成などの提案をすることができるときや、撮影された画像で小さながんが見つかるなど、患者さんの命に役立てたときはうれしいです。



※MRI装置：磁気と電波で脳や体の断面画像を写し出す装置

理学療法士

仕事内容

病気や事故により体に障害や不自由を抱えた人、身体機能が低下した高齢者、けがを負ったスポーツ選手などに対してリハビリテーションを行います。患者さんの状態を評価し、動きの改善指導プログラムを考え、適切なケアを施します。

やりがい

自身が組んだりハビリプログラムにより身体機能や動作能力が改善し、患者さんが目標とする動作ができるようになったとき、また、その喜びを患者さんと共有できたときにやりがいを感じます。

